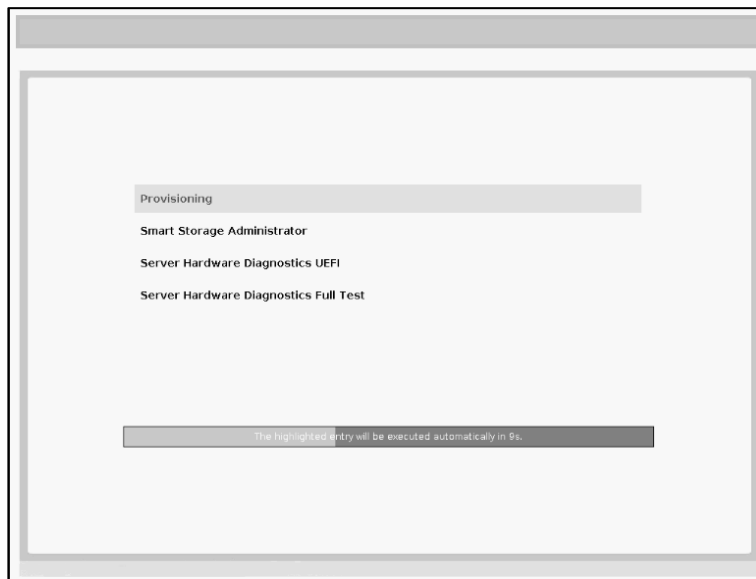


# メンテナンスガイド補足

## 1. EXPRESSBUILDER の起動

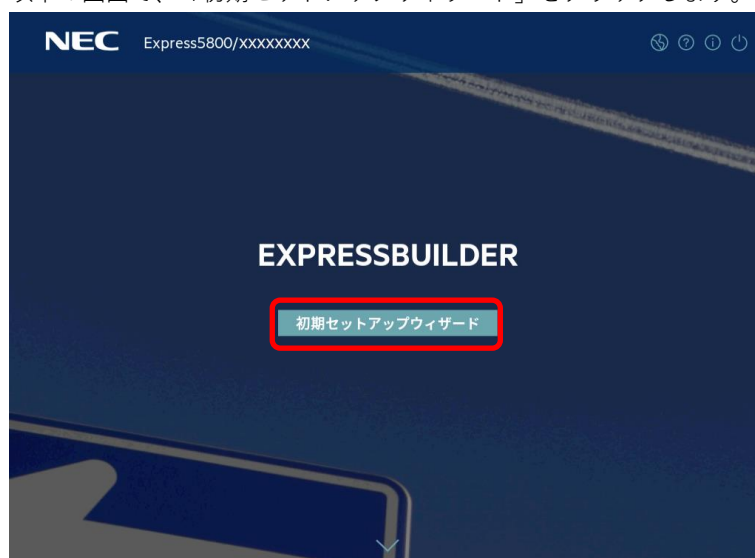
1. 本機の電源をオンにするか、または<Ctrl> + <Alt> + <Delete>キーを押して再起動させます。
2. POST 画面で<F10>キーを押します。

以下のメニューが表示されます。



「MR Storage Administrator」が表示される場合がありますが、本機能は未サポートのため選択しないでください。

3. メニューから「Provisioning」を選択します。
4. 「メンテナンスの実行」から環境クリア後、または初回起動時は、EXPRESSBUILDER の動作環境を設定します。
  - (1) 以下の画面で、「初期セットアップウィザード」をクリックします。



- (2) 以下の画面では、「インターフェイス言語」(デフォルトの英語表記時は「Interface Language」)、「キーボード言語」、および「タイムゾーン」を使用環境に合わせて設定し、次へ進みます。その他の設定は変更しません。「タイムゾーン」がグレイアウトして変更不可のときは、そのままの設定で次へ進みます。

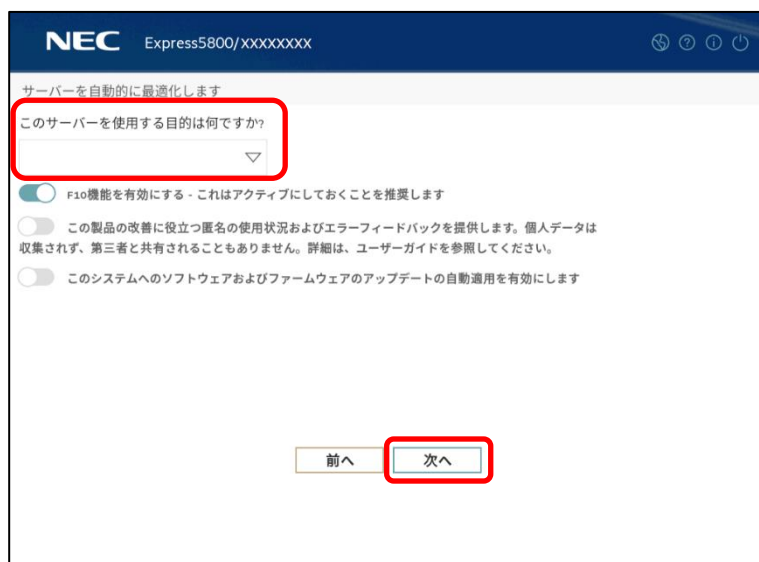
The screenshot shows the NEC Express5800 BIOS/UEFI setup screen. The title bar displays 'NEC Express5800/xxxxxxxx'. The main heading is '言語およびタイムゾーンを選択します' (Select language and time zone). There are four dropdown menus: 'インターフェイス言語:' (Interface Language) set to '日本語', 'キーボード言語:' (Keyboard Language) set to '日本語', 'タイムゾーン:' (Time Zone) set to 'UTC-00:00, グリニッジ標準時, ダブリン, ロンドン', and 'ブートBIOSモード:' (Boot BIOS Mode) set to 'UEFI最適化ブート'. To the right, there are fields for 'システム日付' (System Date) set to '2023/01/14' and 'システム時刻' (System Time) set to '14:44:56'. A toggle switch for 'フィードバックを有効にする' (Enable feedback) is currently off. A '次へ' (Next) button is at the bottom center.

- (3) 以下の画面では、エンドユーザーライセンス(EULA)を読み、チェックボックスをチェックした後、次へ進みます。

The screenshot shows the NEC Express5800 BIOS/UEFI setup screen for the EULA. The title bar displays 'NEC Express5800/XXXXX'. The main heading is 'EULAをお読みください' (Please read the EULA). The section is titled 'ソフトウェアのご使用条件' (Software Usage Conditions). The text explains that the user is agreeing to the terms of use for the software. Below the text, there are four numbered items (a, b, c, d) detailing the usage conditions. At the bottom, there is a checkbox labeled 'EXPRESSBUILDER EULAを承認' (I agree to the EXPRESSBUILDER EULA), which is currently unchecked. Below the checkbox are two buttons: '前へ' (Previous) and '次へ' (Next), with the '次へ' button highlighted by a red box.

- (4) 以下の画面では、使用環境に合わせて電力およびパフォーマンスのワークロードプロファイルを設定します。空白のときはそのまま「次へ」を選択すると、現行の設定のまま先に進みます。その他の設定は変更しません。

選択したプロファイルは、システムユーティリティの「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU)」の「Workload Profile」の設定に反映されます。詳細は、メンテナンスガイド(共通編)の「1 章 システムユーティリティ」の「ワークロードプロファイル」を参照してください。



ここでのワークロードプロファイルには「カスタム」を指定できません。  
ご使用のモデルによっては、デフォルトで「カスタム」が設定されていることがあります。  
その場合、ここでは空白のまま次へ進んでください。  
空白が選択できなくなったときはいったん再起動し、再試行してください。

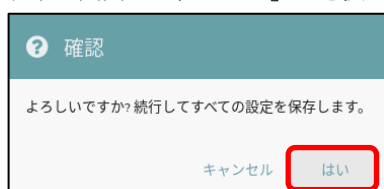
- (5) 以下の画面では、設定を変更せずに次へ進みます。



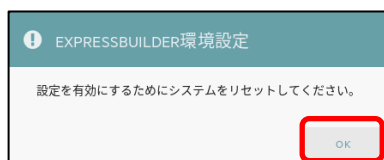
- (6) 以下の画面では、設定を変更せずに「送信」をクリックします。ここでは、iLO の現在の設定が表示されるため、画面の表示は環境によって異なります。



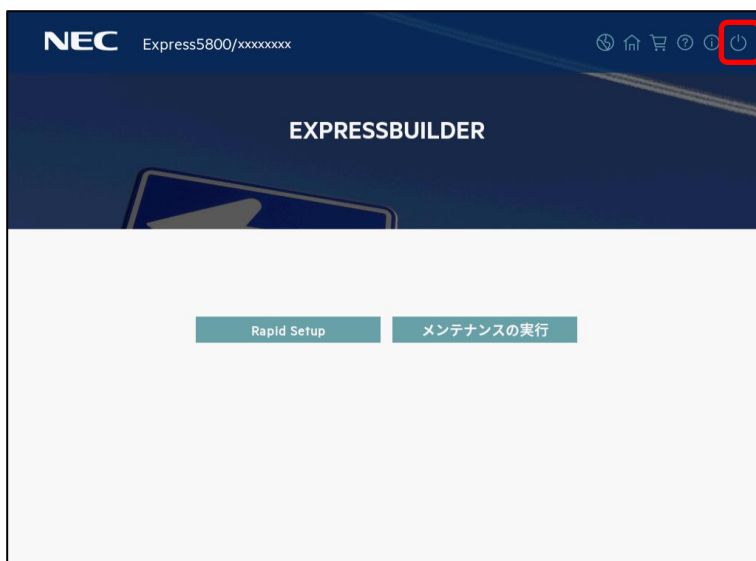
- (7) 以下の画面では、「はい」を選択して設定を保存してください。



- (8) 以下の画面では、「OK」をクリックして次の画面に進みます。



- (9) 以下の画面では、右上の電源アイコンをクリックしてサーバーを再起動してください。

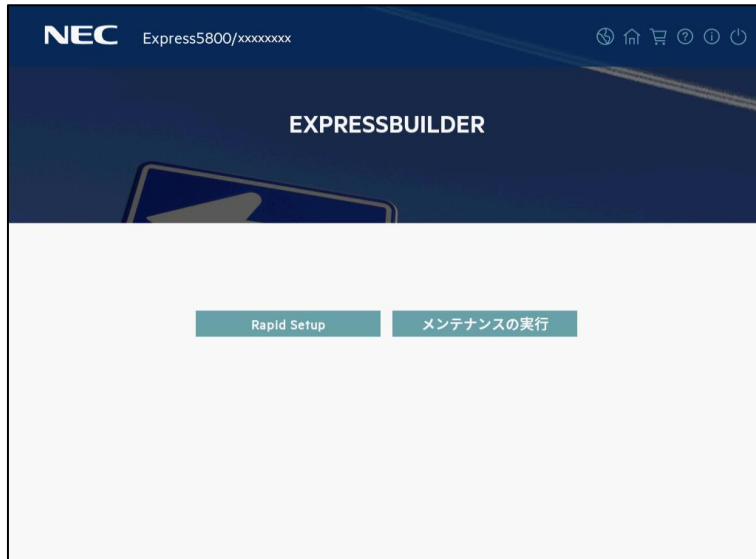


---

## 2. EXPRESSBUILDER のメニュー

---

EXPRESSBUILDER は、画面上のメニューから操作します。



a) Rapid Setup

OS のインストールを実施します。詳細は、「インストレーションガイド(Windows 編)」を参照してください。

本機能を使うと、インストール先ディスクのパーティションをクリアし、全データを削除してからセットアップを進めます。

b) メンテナンスの実行

以下の保守用のツール等を個別に起動します。

(1) EXPRESSBUILDER 環境設定

「1 EXPRESSBUILDER の起動」の手順 4 で設定した環境を再設定できます。

(2) Active Health System ログ

外部メディア等へ、故障時の解析などで使用する AHS ログを保存できます。

(3) 展開設定

サーバーのインストール設定を多数台へ展開することができます。

(4) BIOS/プラットフォーム構成

BIOS の設定ができます。

(5) iLO 構成

iLO の設定ができます。

(6) システムの消去およびリセット

環境設定の消去、およびハードディスクドライブの消去ができます。

「すべての HDD と SSD」を選択すると、外付けを含め、サーバーに接続しているすべてのディスクの内容を消去します。また、「セキュア消去」を選択すると、すべてのディスクに対し、全セクタにランダムパターンを数回上書きしてデータを完全に消去します。



本機能を使用してディスクを消去した場合、ディスクに記録されたデータは復旧できません。また、「セキュア消去」を実行すると、接続したディスクの容量によっては、終了まで数日かかる場合があります。

#### (7) One-button セキュア消去

サーバーを初期状態に戻します。

本機能は、iLO に搭載済みの機能と同等です。詳細は、「iLO5 ユーザーズガイド」の「19. ライフサイクル管理」を参照してください。

#### (8) RAID の構成

RAID の構築、設定を GUI で実施できる Smart Storage Administrator (SSA)を起動します。



- ・N8103-240 をご使用の場合は、POST 中に F9 キーを押下して起動される System Utilities で RAID の構築、設定を実施してください。
- ・「MR Storage Administrator」が表示される場合がありますが、本機能は未サポートのため選択しないでください。